



令和3年度 植田東中学校だより No.21 2022/2/10

HIGASHI

発行者
校長 西内英理

今回の学校だよりは1年2組を紹介します。中学校生活を1年間経験し、心身ともにたくましくなった1年生。1年2組の皆さんには、この1年を振り返っての反省や今後の決意等について、一言ずつ書いてもらいました。

元気で明るい“1年2組”



私たち1年2組は、元気で明るいことが自慢のクラスです。元気な証拠に、毎日休まず登校し、給食も残さず食べる人がたくさんいます。私たちは学校生活の中で、授業はもちろん、給食や帰りの学活の時間を大切にしています。給食の時間は、お替わり希望者による本気モードのじゃんけん大会が毎日開かれています。また、早めに食べ終え、ダジャレやギャグを言ったり、大内先生へ様々なジャンルの質問をする人もいます。帰りの学活の時間には毎日プチイベントがあります。大内先生から出されたお題に、班ごとに分かれてその答えを発表し合い、お互いの気持ちを共有し合っています。一番の思い出は、'One Team'を合言葉に24人全員で支え合い、体育祭や合唱コンクールなど様々な学校行事に全力で取り組んだことです。この思い出は、私たちの宝物です。残りわずかですが、運命の出会いをした仲間との毎日の時間を大切に、笑顔で2年生に進級したいです。

◆ 1年2組の皆さんのつぶやき ◆

- 今井 智康：この1年を通して思ったことは、テストが本当に大事だということです。2年生になったら、勉強に力を入れます！
- 小野 秀人：1年生の1年間は、宿題の忘れ物やミスが身の回りで多かったのですが、それを減らしたいです。
- 小野 結翔：まもなく1年が経つ中学校生活で、今までにない活発な活動、先輩という呼び方など、慣れない生活でもいい経験ができたと思います。
- 金澤 颯祐：2年生では、学力を伸ばすことと、足が速くなれるように努力したいです。学級のみんな、1年間本当にありがとう。
- 木田 昂汰：2年生になったら、あいさつそして勉強をもっとがんばり、1年生の手本になれるようにがんばりたいです。
- 鈴木 颯斗：2年生になったら勉強が難しくなると思うので、勉強をがんばっていきたいです。
- 藺辺 幸介：英検3級の合格のために、今後過去問を使って、問題の正答率を上げて、頑張りたいです。
- 丹野 舜大：中学校はとてもしっかりと、テストもあって楽しくないと思っていたけれど、1年間とても楽しかったです。
- 蛭田宗太郎：2年生になることに向けて、穏やかな心と整理整頓を徹底してできるようにしたいです。
- 間宮 大幹：僕は4月から2年生となり、後輩が入ってくるので、しっかりとした頼れる先輩になりたいです。
- 吉田 廉：僕は、中学校生活を1年間経験して、宿題が多かったり部活が大変だったけど、小学校より充実していました。
- 渡辺 博斗：今後テストに向けて、しっかり勉強をし、部活で後輩にいろいろなことを教えてあげられるようにしたいです。
- 金成 晃佑：2年生になることに向けて、1日1日を大切に、楽しく生活できるようにしたいです。
- 青木 結愛：2年生になることに向けて、勉強と部活の両立をできるように頑張りたいです。
- 荒木 紫乃：2年生になることに向けて、勉強を引き続きがんばっていきたいです。
- 遠藤 萌奈：1年生の時はクラスでワンチームとなり団結できたので、2年生になってもワンチームになって頑張りたいです。
- 大木 結愛：1年間を経験して、中間テストなどで自分の学力を実感して、成績を伸ばすことができました。
- 栗原詩桜里：この1年間で学んだことを生かし、立派な2年生になれるように様々なことに積極的に取り組みたいです。
- 坂本 葉菜：中学生になって、難しくなった勉強やあいさつの大切さを学ぶことができ、いろいろな経験をしました。
- 根本 麗：私は誕生日が4月で、みんなより早く14歳になります。よい先輩としてよいスタートを切りたいです。
- 林 真璃奈：2年生になることに向けて、やはり勉強がだめだったので復習もしながら勉強をがんばりたいです。
- 水野 風薫：小学生から中学生になって、1時間の授業時間が5分長くなったことがかなり衝撃的でした。
- 緑川 歩莉：4月から入学してくる1年生たちのお手本になれるように、周りの人たちに気かけられるようにしたいです。
- 村松 乃愛：2年生になることに向けて、今後もっと勉強を頑張りたいです。学級のみんな、1年間ありがとう！

【担任自己紹介】

1年2組担任の大内裕美子です。植田東中学校に赴任して4年が過ぎようとしています。

私は中学2年の時に担任をしていただいた恩師に憧れ、英語の教員を志しました。現在でもその恩師に会う機会がありますが、その当時と変わらず温かい言葉をかけていただいています。私も恩師のように、生徒をいつまでも大切に思えるような教師であり続けたいと思っています。

